

新冠百話

第八十三話

「厚別川の砦（伝説）」（要約文）

厚別川の支流ホロカウナイ川にチャシと呼ばれる砦がある。このチャシは、かつて釧路の方から来た野盗（やとう）と戦争をした場所である。

最初、この野盗達は砦の西側から攻め立てたが、砦を守るアイヌ民族はたくさん丸太を投げおろして抵抗したので近寄ることができなかった。今度は東側から攻め立てると、抵抗するための丸太がなくなったので砦が今にも破られそうになった。すると砦を守る知恵者が古い山刀を振って音を立てた。その音を聞いた野盗の首長トウンスリは、「このチャシには人喰刀（エベタム）がある！それが怒って音を立てているから逃げろ！」と号令をかけたので、野盗達は慌てて退却した。すると、逃げ遅れた野盗の一人が、チャシにいた女性が「あんな古い山刀の音に驚いて逃げて行った」と言っていたのを耳にした。再び野盗達が引き返すと、チャシはあつという間に包囲されてしまった。死力を尽くして弓や槍で応戦したが、敵勢が多くてついにチャシは陥落してしまった。



ホロカウナイ川の近くにあるチャシの方向を望む（新和）

たラメトクという老人は、砦を攻めおとしたトウンスリとばったり出会った。ラメトクは、チャシを陥落させた敵を目の前にしながらも、先方が油断した時を見計らって毒矢を射込み、さつと身をひるがえして川上の草原に逃げ込んだ。ちょうどそこに一頭の雄鹿もいて驚いて同じ方向に逃げ込んだ。トウンスリ側の追手は、逃げた鹿をラメトク老人と勘違いして追いかけた。その間にラメトク老人は悠々と逃げ延びたのだった。

毒矢によって首長を倒された釧路の野盗軍は、トウンスリの屍を持って元神部（今の東川）にあるイッカナイという村に移動したが、腹が減ったので村の倉庫にあった稗（ひえ）を盗んで炊いて食べた。ところがこの稗は精白していなかったもので、みんな腹を痛めて死んでしまった。最後にトウンスリが葬られた場所は、旧美宇小学校の近くだという。

ホームタンクの点検をお願いします！

- タンク本体に破損や変形、腐食等がないか
- 油量計を確認し、急激な減少がないか
- 配管接合部に「にじみ」コックや土台に「ゆるみ」がないか
- 地面に灯油の漏れや、周囲に灯油の臭いがないか

消防署新冠支署

火災・救急出動状況

（ ） かつこ内は前年同期

区分	火災件数	救急件数	災害出動件数
9月	0件（0件）	22件（29件）	0件（2件）
7年1～9月	3件（4件）	228件（211件）	8件（13件）

交通事故発生状況			
（ ） かつこ内は前年同期			
区分	発生件数	死者	傷者
9月	2件（1件）	0人（0人）	3人（1人）
7年1～9月	4件（3件）	0人（0人）	5人（6人）

人のうごき

（令和7年9月末現在）

人口	4,968人	（前月比 △ 2人）
男	2,509人	（前月比 + 4人）
女	2,459人	（前月比 △ 6人）
世帯	2,815世帯	（前月比 + 4世帯）

戸籍の窓

9月6日～10月5日までの届出分（敬称略）

●お誕生おめでとうございます

永坂 ^{あさひ}旭（^{パパ}翔 ^{ママ}愛華） 中央町

伊藤 ^{あき}碧桔（翔悟 理愛） 北星町

●おくやみ申し上げます

山本 信子 92歳 北星町

石村 香 61歳 節婦町

長濱 マツ 100歳 朝日

齋藤 章 70歳 北星町

山口 絹子 94歳 北星町

☆広報に掲載してほしくない方は届出のとき、町民生活課町民生活グループ住民係へお申し出ください。

●お問い合わせ先

町民生活課町民生活グループ住民係

☎ 0146・47・2112